

## 災害時の放送と情報提供



西日本豪雨の被災地を取材

### ▶ 緊急災害放送

- 1 光警報器が点滅し、緊急災害放送開始をお知らせします
- 2 緊急災害ニュースなどに対応した手話と字幕を配信します  
(放送に字幕がある場合は手話のみ)
- 3 独自取材による災害特別番組を放送します

### ▶ 避難所への「アイ・ドラゴン4」設置を

災害時の聴覚障害者への情報保障の一環として、避難所となる公共施設や聴覚障害者が集まる施設に「アイ・ドラゴン4」を設置していただくよう、都道府県や市区町村に働きかけています。

#### 「緊急災害放送」主な配信実績

- 2004年 新潟県中越地震
- 2005年 JR西日本福知山線事故など
- 2007年 能登半島地震/中越沖地震など
- 2008年 岩手宮城内陸地震/岩手沿岸北部地震など
- 2009年 静岡県沖地震/台風18号など
- 2010年 チリ大地震による太平洋沿岸大津波警報など
- 2011年 東日本大震災
- 2016年 熊本地震/台風10号/鳥取県中部地震/福島県沖地震/茨城県北部地震
- 2017年 九州北部豪雨/台風5号
- 2018年 大阪北部地震/西日本豪雨//台風21号/北海道胆振東部地震/台風24号



2011年3月の東日本大震災では、衛星中継車を被災地に派遣

## 障害者の情報保障のための共同の広がり



- 全国の障害者を対象に、地デジ移行説明会を実施
- ITU-T SG16 関連の会議に参加
- IPTV アクセシビリティコンソーシアムと連携、毎年、一般社団法人 情報通信技術委員会 (TTC) と共同してセミナーを開催
- テレビジョン放送における手話通訳育成事業

## 調査・研究事業



「きのくにの心」(和歌山)で開催した「緊急災害時における聴覚障害者の情報伝達保障支援活動」(2019年)

- 知的障害者を対象としたテレビ放送に関する調査・研究 (公益財団法人 放送文化基金、2014年度)
- 手話放送の充実に資する専門人材研修事業 (公益財団法人 放送文化基金、2018年度)
- 緊急災害時における聴覚障害者の情報伝達保障支援活動 (公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団、2018年度)
- 聴覚障害者における IPTV 情報アクセシビリティの標準化の動向に関する調査 (一般社団法人 情報通信技術委員会、2019年度)

聴覚障害者のための 聴覚障害者が主人公のテレビ局

# 目で聴くテレビ

## 手話と字幕の番組



「目で聴くテレビ」のトップ画面

目で聴くテレビ  
21年目!



番組キャラクター  
eye龍 (あい・ろん)

「目で聴くテレビ」は聴覚に障害のある方のための放送局です。

聴覚障害者自身がキャスターやカメラマンとして番組制作に参加。

ニュースや地域の話からスポーツ、手話学習、災害時の情報まで、手話と字幕でさまざまな情報を発信しています。



Let's Sign! 国際手話



第23回夏季デフリンピック サムスン2017



「令和」の手話

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

障害者放送通信機構では情報保障という観点を中心に、SDGsに積極的に取り組んでいます。

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)  
**障害者放送通信機構**

〒530-0044 大阪市北区東天満2-7-12 スターポート  
FAX 06-6242-6502 TEL 06-6242-6501  
<http://www.medekiku.jp>

# 認定NPO法人 障害者放送通信機構 設立とあゆみ

- 1998年 9月 財団法人全日本ろうあ連盟と社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会などが中心となり、障害者放送通信機構（当時はCS聴覚障害者予備実験放送統一機構）を結成、聴覚障害者のための手話と字幕の番組放送を開始
- 2001年 4月 KBS 京都放送で「目で聴くテレビ KYOTO」放送開始  
6月 特定非営利活動法人（NPO法人）として認証
- 2002年 3月 文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受け、同年5月のワールドカップサッカー開幕式特別番組を皮切りに、リアルタイム字幕配信を開始
- 2003年 4月 「アイ・ドラゴンII」が聴覚障害者用情報受信装置として、CSアンテナ、緊急警報装置とセットで厚生労働省より身体障害者日常生活用具に指定
- 2006年 12月 内閣府より「バリアフリー化推進功労者表彰」を受賞  
特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）として認証
- 2015年 10月 「目で聴くテレビ」の字幕・手話・音声解説付与の技術をきっかけとして、ITU-T（国際電気通信連合の電気通信標準化部門）において IPTV のアクセシビリティに関する国際標準規格（H.702）が標準化
- 2016年 11月 ITU（国際電気通信連合）・IPC（国際パラリンピック委員会）より、アプリケーションチャレンジ公的部門で最優秀受賞
- 2019年 2月 国連広報省と連携するエッセル財団よりゼロ・プロジェクト アワード受賞  
5月 第56回ギャラクシー賞受賞（報道活動部門）



## 「目で聴くテレビ」の放送

### 「目で聴くテレビ」

- 毎週火曜日午後9時更新

### 地上波テレビ

- TVK（テレビ神奈川）  
毎週月曜日午前9時～9時30分
- KBS（京都テレビ）  
毎週土曜日・火曜日（再放送）午前8時～8時30分

### ケーブルテレビ

- 行田ケーブルテレビ（埼玉県）
- 伊賀上野ケーブルテレビ（三重県）



## 「目で聴くテレビ」を見るには

### 「アイ・ドラゴン4」が必要です

「アイ・ドラゴン4」は、身体障害者日常生活用具として、市区町村から給付を受けていただくことができます。

#### ▶ 「アイ・ドラゴン4」の4つの機能

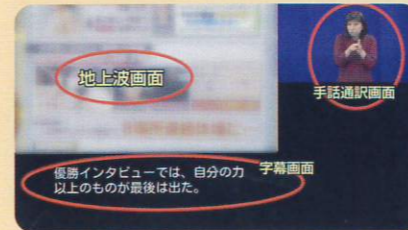
- 1 「目で聴くテレビ」オリジナル番組を見る
- 2 手話番組アーカイブを見る  
番組一覧から、24時間いつでも見たい番組を選択して見るができます（2019年5月現在約700本）
- 3 「リアルタイム手話字幕放送」を見る  
地上波（キー局・地方局）の番組に字幕や手話をつけて見るができます  
※「目で聴くテレビ」が字幕・手話通訳を行っている番組に限ります
- 4 災害時に手話付きの緊急災害放送を見る  
※光る警報機が緊急放送の開始をお知らせします



### いま人気のアーカイブ手話番組

- 「令和」の手話
- Let's sigh! 国際手話
- 全国ろうあ者大会
- JFD(全日本ろうあ連盟)レーダー
- 各地の情報提供施設制作番組
- 知っておこう! ぼうさいのこころえ
- 月曜男の手話漫談
- 手話言語の国際デー記念イベント中継録画
- 電話リレーサービスの制度化を考えるシンポジウム
- 優生保護法提訴と実態調査の記者会見
- 第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園
- 平成30年7月豪雨広島取材
- 重田千輝のモンゴル紀行
- 大阪北部地震～北摂聴覚障害者センターほくほく～
- 村上センセーの歯のおはなし
- ヘルシーダイエット
- 今村彩子のドキュメンタリー
- おおだてのぶひろ監督のコーナー

### リアルタイム手話字幕放送とは



緊急災害時など、地上波のニュースや情報番組などに対応した手話と字幕を配信します。

### オリジナル番組



オリジナル番組とは、障害者（特に聴覚障害者）と手話に関する情報や、スポーツ・娯楽などの番組を制作し、配信するものです。

#### ▶ 「アイ・ドラゴン」シリーズは、これまで全国でのべ12,000台を超える台数が普及しています。

一般の個人ユーザーのほかにも、全国各市区町村の公共施設や福祉避難所などに設置されています。



聴覚障害者用情報受信装置  
アイ・ドラゴン4